



共に挑もう、共に超えよう。

皆さまと共に、10年先の豊かさがある未来を見据えて

共同印刷グループは理念体系を刷新。

「共にある未来」を実現するための私たちの歩みと想い、

そして変革への取り組みをご紹介します。

I 会社概要

会社概要

社名	共同印刷株式会社
----	----------

本社所在地	東京都文京区小石川4-14-12
-------	------------------

設立	1925(大正14)年12月 ※創業1897(明治30)年6月
----	---------------------------------

資本金	45億1千万円
-----	---------

従業員数	連結3,136名 単体1,912名 (2026年3月31日現在)
------	----------------------------------

上場市場	東京証券取引所 プライム市場 (コード:7914)
------	---------------------------

1897年（明治30）	創業：博文館主大橋佐平、現在の銀座6丁目に博文館印刷工場を創設（翌年小石川に移転）
1925年（大正14）	設立：博文館印刷所と精美堂が合併し共同印刷株式会社発足
1964年（昭和39）	小田原工場竣工：ラミネートチューブ 製造拠点
1981年（昭和56）	鶴ヶ島工場竣工：ビジネスフォーム・証券類・カード 製造拠点
1987年（昭和62）	守谷工場竣工：紙器・軟包装・高機能フィルム 製造拠点
1991年（平成3）	和歌山工場竣工：ラミネートチューブ 製造拠点
1993年（平成5）	五霞工場竣工：出版商業印刷 製造拠点（週刊少年ジャンプ製造拠点）
2002年（平成14）	川島ソリューションセンター竣工：データプリント・BPO 拠点
2007年（平成19）	播磨坂スタジオ竣工：自社の撮影スタジオ
2015年（平成27）	ベトナム工場竣工：ラミネートチューブ 製造拠点
2017年（平成29）	インドネシアのArisu社を連結子会社化：ラミネートチューブ 製造拠点
2018年（平成30）	コーポレートブランド TOMOWEL 導入
2019年（平成30）	共同ブローボトルを連結子会社化：ブローボトル 製造拠点
2022年（令和4）	小石川本社 新社屋竣工
2025年（令和7）	理念体系刷新、長期ビジョン「NexTOMOWEL 2034」策定

事業拠点

情報コミュニケーション部門

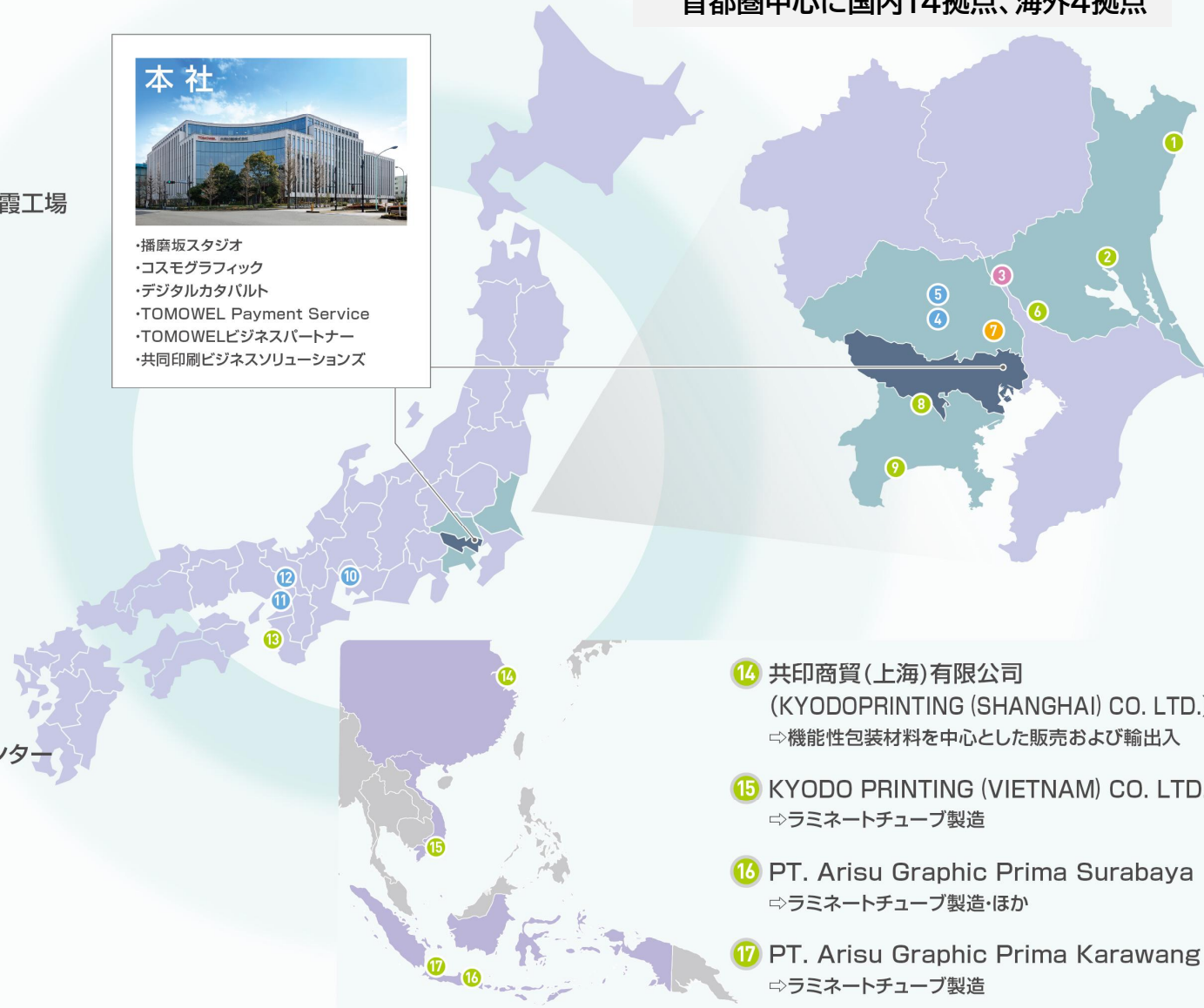
情報セキュリティ部門

生活・産業資材部門

その他(グループ会社など)

首都圏中心に国内14拠点、海外4拠点

- ① 常磐共同印刷(株)
⇒ 建装材印刷、ブローチューブ製造、ほか
- ② 共同ブローボトル(株)
⇒ ブローボトル製造
- ③ 共同印刷メディアプロダクト(株)／五霞工場
⇒ 刷版、印刷、製本・加工
- ④ 鶴ヶ島工場
⇒ カード製造・発行、証券印刷
- ⑤ 川島ソリューションセンター
⇒ ビジネスフォーム、データプリント、BPO
- ⑥ 守谷工場／共同NPIパッケージ(株)
⇒ 紙器・軟包装
- ⑦ 共同物流(株)／首都圏物流センター
⇒ 輸送、梱包・保管、アセンブリ
- ⑧ 相模原工場
⇒ ラミネートチューブ製造
- ⑨ 小田原工場
⇒ ラミネートチューブ製造
- ⑩ 共同印刷西日本(株)名古屋カードセンター
⇒ カード製造・発行、BPO
- ⑪ 共同印刷西日本(株)
- ⑫ 京都工場
⇒ ビジネスフォーム、データプリント、BPO
- ⑬ 和歌山工場
⇒ ラミネートチューブ製造



- ⑭ 共印商貿(上海)有限公司
(KYODOPRINTING (SHANGHAI) CO. LTD.)
⇒ 機能性包装材料を中心とした販売および輸出入
- ⑮ KYODO PRINTING (VIETNAM) CO. LTD.
⇒ ラミネートチューブ製造
- ⑯ PT. Arisu Graphic Prima Surabaya
⇒ ラミネートチューブ製造・ほか
- ⑰ PT. Arisu Graphic Prima Karawang
⇒ ラミネートチューブ製造

Ⅱ 事業紹介

(主要な製品・サービス)

事業紹介 生活・産業資材



■チューブ(ラミネートチューブ・ブローチューブ)・ブローボトル

○ラミネートチューブ製造の国内トップメーカーとして、化粧品・医薬品・歯磨き・食品向けのチューブ容器を提供

○ベトナムとインドネシアに製造拠点をもち、ASEAN地域に高品質のラミネートチューブを提供



モイストキャッチ®と使用製品イメージ

■産業資材(高機能フィルム)

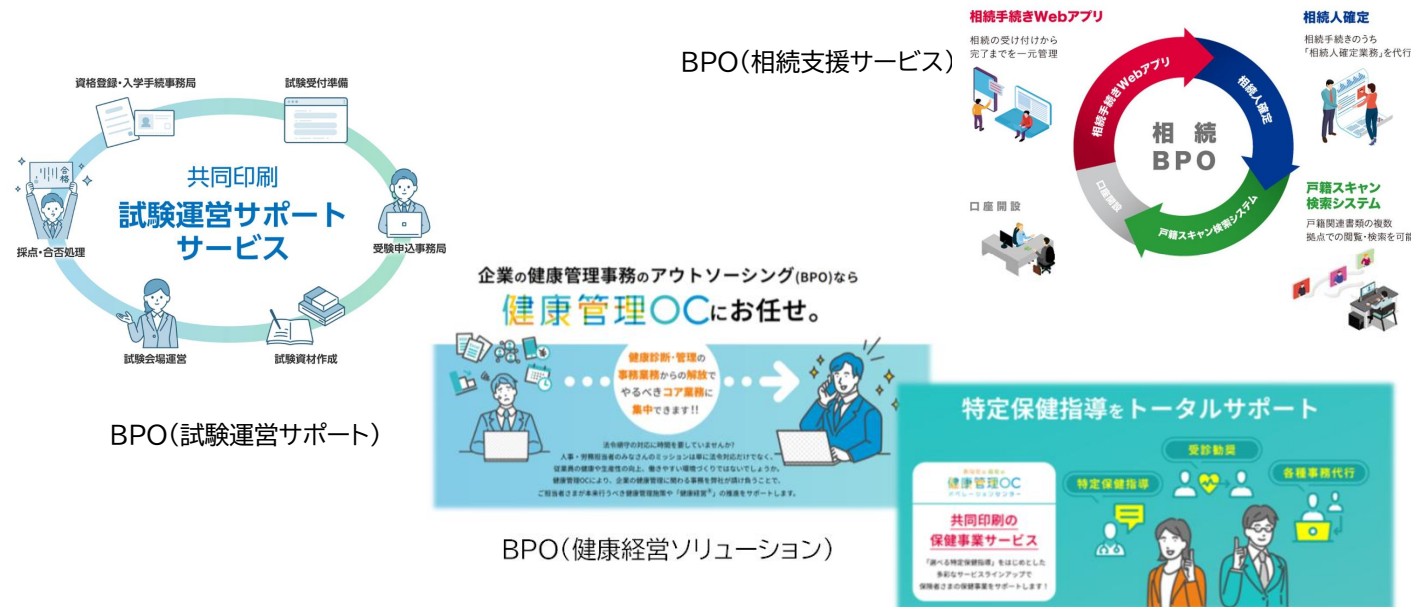
○医薬品向け中心に高機能フィルムを提供
基盤となる樹脂にさまざまな機能性素材を練りこみ、
高い機能性を持つフィルムを製造
現在、この技術をもとに多様な製品開発を推進

■パッケージ(紙器・軟包装)

○食品や日用雑貨、医薬品などのパッケージ製造、商品のネーミングやパッケージデザイン、販促プランなども提案

○使いやすく安全性に配慮した設計や、リサイクル適性、省プラスチックなど、環境へ配慮した包装材の開発

事業紹介 情報セキュリティ



証券類(宝くじなど)



各種ICカード

Suicaは東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
PASMOは株式会社バスモの登録商標です。
TOICAは東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
nimocaは西日本鉄道株式会社の登録商標です。

■データプリント、BPO(ビジネス・プロセス・アウトソーシング)

- 高度なセキュリティ環境を持つ自社工場内にて、顧客情報を専用プログラムで編集し、データプリント～封入封緘～発送までワンストップで提供
- データプリント周辺の事務作業、システム構築、顧客対応などの業務を一括受託するBPOの提供
- 自治体・金融機関中心に、業務改善、ペーパーレス化を支援するシステム開発・運用の受託拡大に注力

■ICカード・乗車券／宝くじ

- 各種ICカードの製造・発行と関連するソリューションを提供、特に交通系ICカードはトップシェア
- 各種宝くじの製造および特急券をはじめとする乗車券用紙の製造で高いシェア
- グループ会社のTOMOWEL Payment Serviceが、法人向け小口決済ソリューションを提供

事業紹介 情報コミュニケーション

■出版印刷

- 集英社の「週刊少年ジャンプ」を1968年の創刊時から受注してきたことから、まんがに関連する分野に強み
- 図鑑・絵本などの児童書分野も得意

■一般商業印刷

- 自社スタジオと制作チームを有し、カタログや情報誌を企画～撮影～編集～製造までの一貫生産体制
- 店頭販促分野に強く、特に販促什器については化粧品・日用品メーカーや家電メーカーから高い評価
- 制作の強みを生かし、IR領域(統合報告書制作、株主優待事務局など)の支援業務を拡大



店頭用販売什器・POP



雑誌・書籍

■コンテンツ事業

- 企業内研修向けなどにオリジナル教材や研修プランを開発・提供
- まんが・アニメのコンテンツを生かしたイベント企画、グッズ制作
- オリジナルのデジタルコミック企画制作・販売



学びを提供する「YorisoWeL」のサービスページ

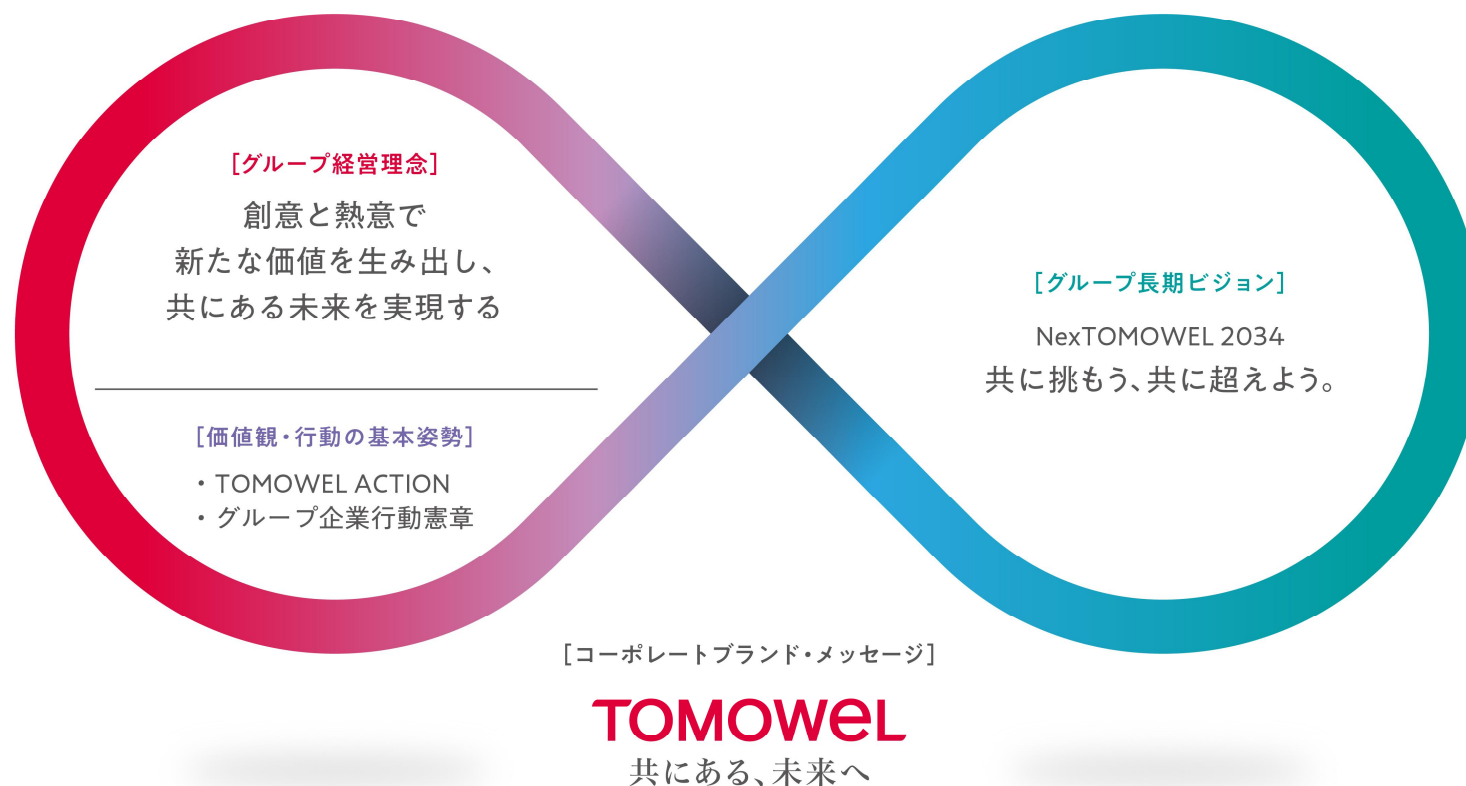


Ⅲ 共同印刷グループのめざす姿

～長期ビジョンNexTOMOWEL 2034～

長期ビジョン 共同印刷グループの理念体系

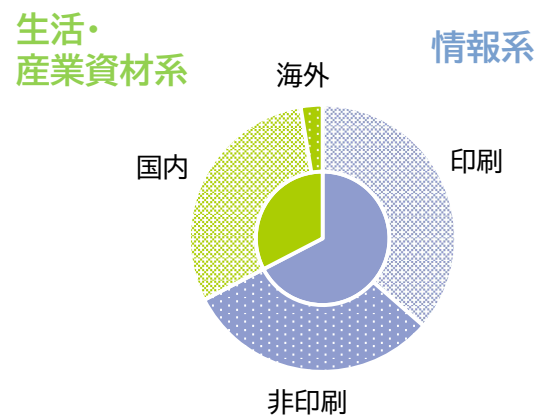
ステークホルダーの期待に応え持続的に成長し続けるため、当グループの価値観等を体系的・統合的に見直し、理念体系を再構築



長期ビジョン 長期戦略「NexTOMOWEL 2034」の概要

情報系は、印刷から情報サービス(非印刷)へ重心を移行し、データを活用した情報サービスなどを提供
生活・産業資材系は、技術力を核に高付加価値製品を開発し、海外を含む成長市場・事業分野への展開を強化

2024年度
売上高構成

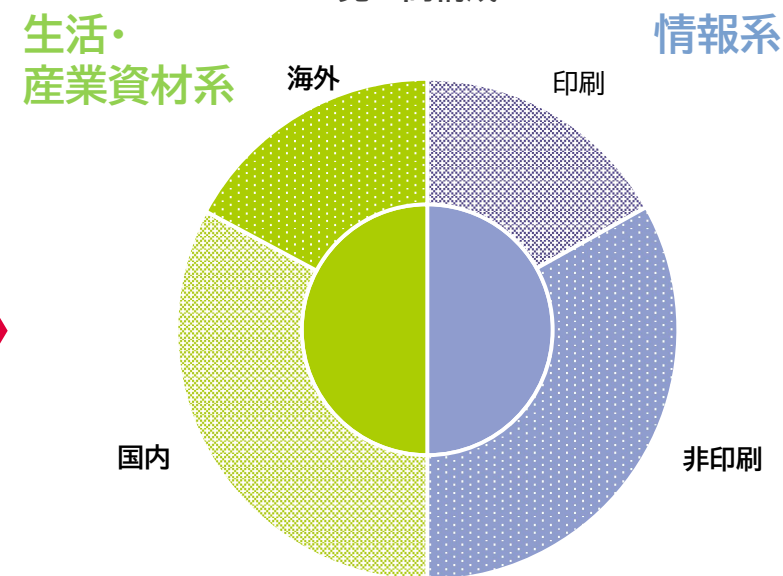


営業利益
23 億円

10年後の事業ポートフォリオに向けて
選択と集中を加速



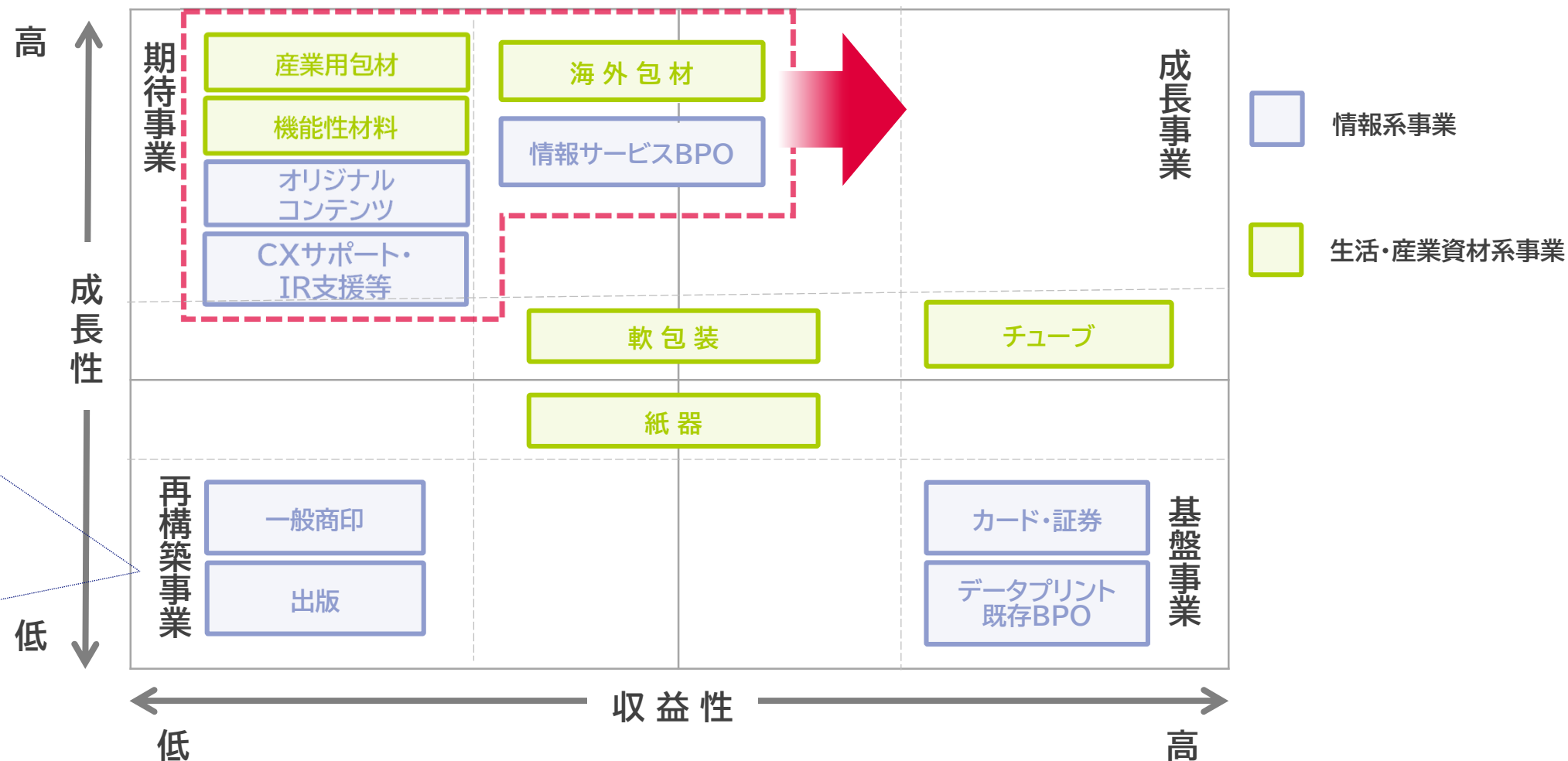
2034年度
売上高構成



営業利益
120 億円以上

長期ビジョン 事業ポートフォリオ変革

基盤事業は効率化を追求し、獲得したキャッシュを期待事業への投資に振り向け、成長事業へと育成
再構築事業は収益性を見極め、構造改革を実施。事業資産の入れ替えを進め、ROIC向上をめざす



長期ビジョン 投資の概要

2034年度までの10力年で総額700億円規模の投資を計画

成長投資

430億円程度

設備投資

拡大分野における生産体制増強

M&A

新事業領域の拡大や海外展開を中心に検討

人的投資

事業ポートフォリオに基づく人材育成(リスクリング含む)、
注力事業分野へ人員増強、イノベーションにつながる人材確保

研究開発

新規売上創出のための製品・サービス開発に注力

既存事業への投資

270億円程度

既存事業の省人化・生産性向上に向け、
DX投資・設備投資を積極的に行い、効率化

IV 2027年3月期 第1四半期実績 および業績予想

決算概要 2027年3月期第1四半期 実績および業績予想

増収増益となり、特に利益については期初予想に対して良好に推移したため、第2四半期(中間期)の利益予想を上方修正

単位:百万円	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	前年同期比		2027年3月期 業績予想		
			増減額	増減率	第2四半期 当初予想	第2四半期 修正予想	通期
売上高	23,872	23,950	+77	+0.3%	49,000	49,000	101,000
営業利益	463	752	+288	+62.2%	850	1,200	2,500
営業利益率	1.9%	3.1%	+1.2Pt	—	1.7%	2.5%	2.5%
経常利益	779	1,120	+341	+43.8%	1,100	1,500	2,950
親会社株主に帰属する 四半期純利益	809	1,201	+391	+48.3%	1,700	2,300	4,200

決算概要 セグメント別業績

- 情報コミュニケーション部門：出版印刷、一般商業印刷において紙媒体の売上高が減少し、減収減益
- 情報セキュリティ部門：売上高はほぼ横ばいとなったものの、価格戦略や効率化を進めた結果、減収増益
- 生活・産業資材部門：ラミネートチューブや軟包装など主要な品目が増加し、増収増益

	売上高			営業利益		
	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減率	2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	増減率
情報コミュニケーション	7,197	6,893	△4.2%	△361	△415	－
情報セキュリティ	7,817	7,692	△1.6%	462	565	+22.1%
生活・産業資材	8,297	8,866	+6.9%	466	730	+56.7%
その他(調整分含む)	560	498	△11.2%	△103	△128	－
合計	23,872	23,950	+0.3%	463	752	+62.2%

単位:百万円

決算概要 セグメント別業績予想(第2四半期)

- 情報コミュニケーション部門：減収減益基調で推移 ● 情報セキュリティ部門：増益を見込む
- 生活・産業資材部門：増収増益 ● グループ全体：売上高は計画通りに推移、営業利益は当初予想を上回る見込み

※通期：原材料価格など先行きが不透明な要素を考慮し、現時点では据え置き

	売上高			営業利益		
	2027年3月期 第2四半期 当初予想	2027年3月期 第2四半期 修正予想	2027年3月期 通期予想	2027年3月期 第2四半期 当初予想	2027年3月期 第2四半期 修正予想	2027年3月期 通期予想
情報コミュニケーション	15,700	15,300	34,000	△150	△400	250
情報セキュリティ	15,100	14,900	29,500	750	900	1,250
生活・産業資材	17,100	17,800	35,300	650	1,000	1,700
その他(調整分含む)	1,100	1,000	2,200	△400	△300	△700
合計	49,000	49,000	101,000	850	1,200	2,500

単位:百万円

V 株式情報・株主還元施策

株式情報 各種取り組み

株主還元強化、株式流動性向上、IR強化に向けた取り組み内容

2026年3月期の取り組み

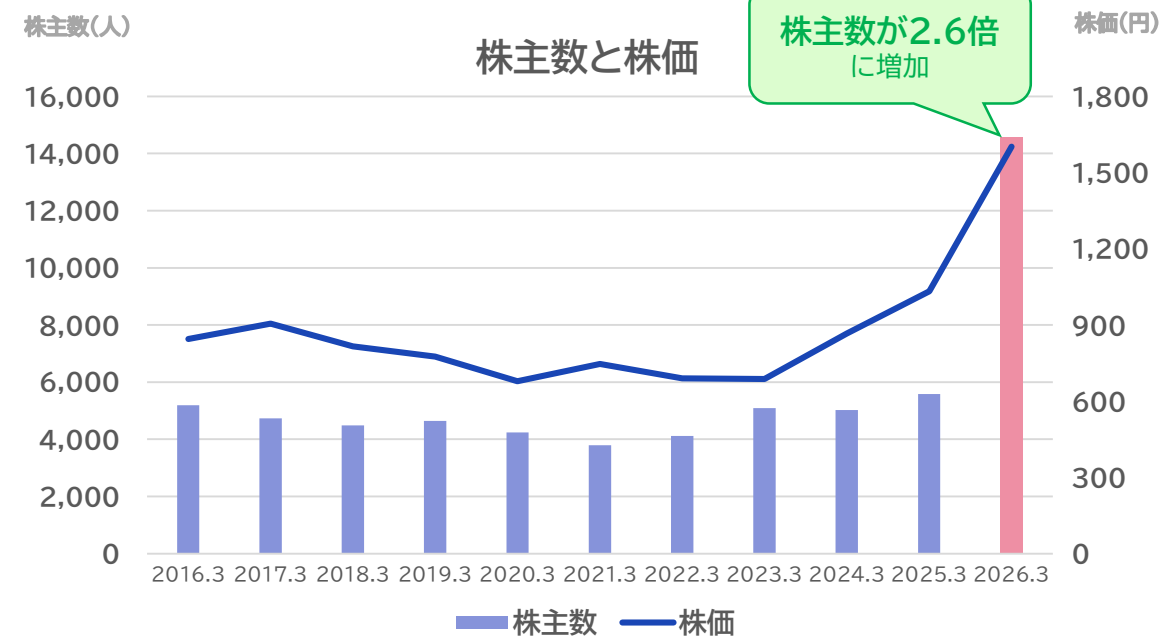
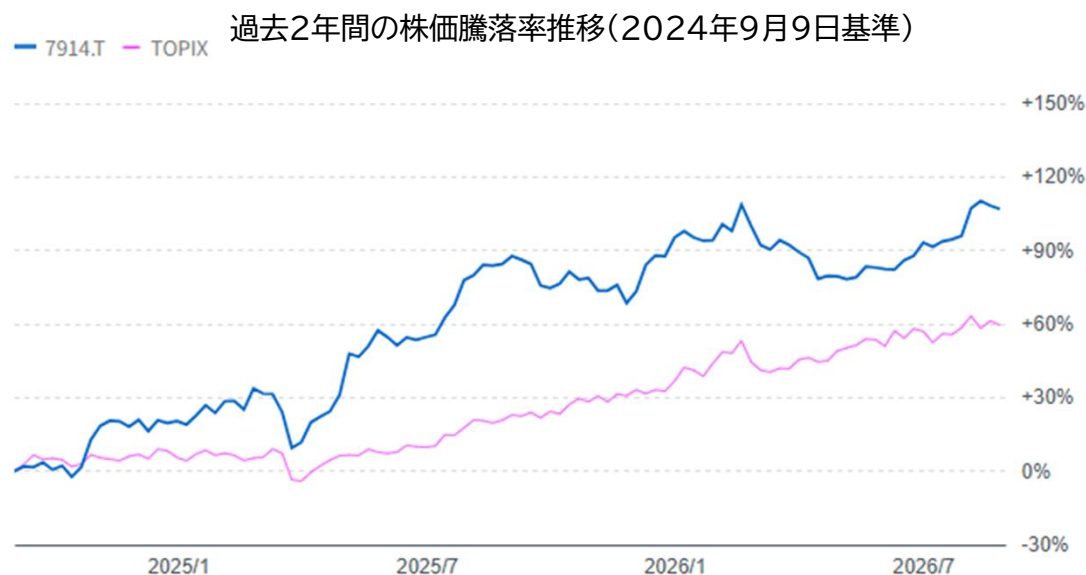
- ◎ DOEによる配当：2025年度よりDOE3.5%の配当方針
- ◎ 株式分割 ： 2025年4月に1株→4株の株式分割を実施
- ◎ 株主優待拡充 ： 株式分割に合わせ、株主優待を拡充
- ◎ 売出し実施 ： 2025年12月に大株主による株式売出しを実施
- ◎ IR説明会の拡充： 個人投資家向けIR説明会開催数の増加
→三大都市開催＋日経・東証IRフェアでの会社説明会など年間5回開催

- 
- ・株主数増加(2025年3月末→2026年3月末 約2.6倍)
 - ・東証における1日平均売買代金の上昇(2025年3月期→2026年3月期 約3.4倍)

※4月1日～3月31日における1日平均売買代金を比較しています

株式情報 株価および株主数の状況

前ページのような取り組みの結果、株価はTOPIXを上回って推移、株主数も前期末比較で2倍以上に増加



株価	1,730円(2026/09/08終値)
PER	11.39倍
PBR	0.69倍
ROE	6.18%
配当利回り	4.62%

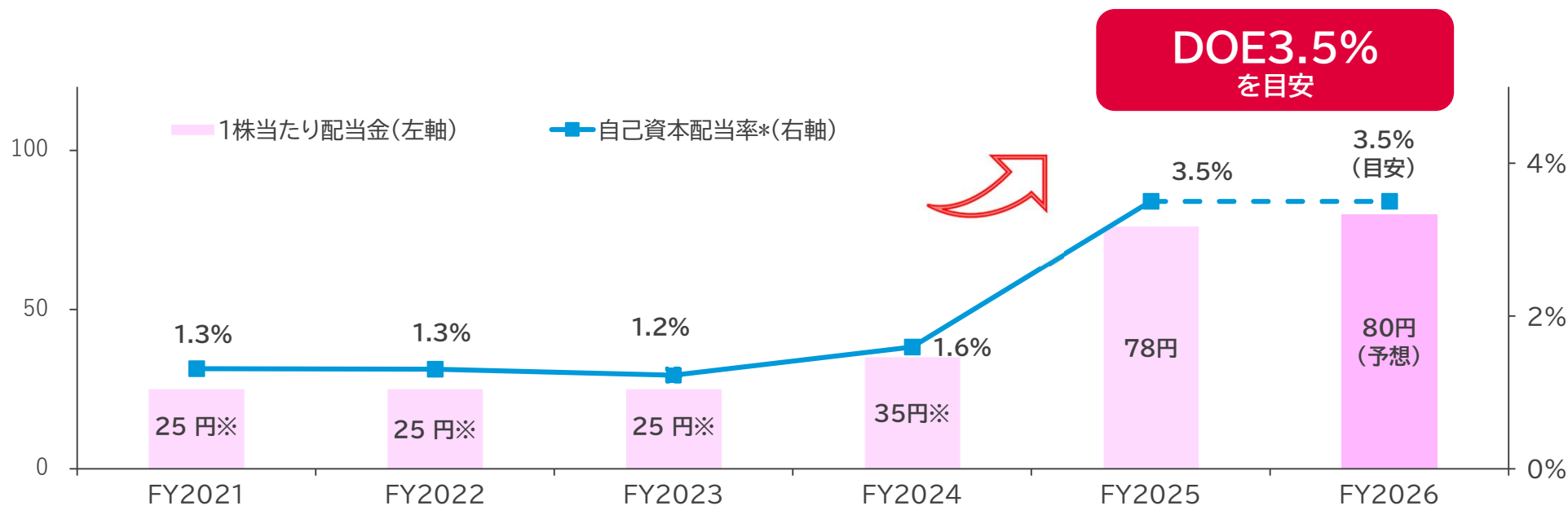
年度	2016.3	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2026.3
株主数	5,187	4,736	4,483	4,643	4,240	3,787	4,112	5,085	5,020	5,588	14,587
株価	845	905	816	775	678	746	690	687	866	1,032	1,602

株主還元 配当予想

●2027年3月期の配当について

以下の方針に基づき1株あたり80円(中間40円、期末40円)の見通し

- ・企業価値の向上と安定的な株主還元を実現するため、自己資本配当率(DOE)3.5%を目安とする
- ・中間、期末いずれも、期初に(前期末自己資本+当期末予想自己資本)÷2×1.75%を目安に配当予想
- ・期初予想どおりの配当支払いを基本とし、業績、財務状況等の推移を勘案のうえ、中間配当+期末配当がDOE3.5%を大きく下回ることのないよう配当を実施する



※2024年度以前の配当金は株式分割後の数値に換算

株主還元 株主優待

2026年3月期期末オリジナルQUOカード(1,000円券)

●株主優待は以下の内容でお届けしています

QUOカード(毎年3月31日および9月30日基準日)

保有株式数	優待品の内容
200株以上を継続して6か月以上保有(注1)	当社オリジナルQUOカード500円相当
400株以上を継続して6か月以上保有(注2)	当社オリジナルQUOカード1,000円相当
1,000株以上を継続して6か月以上保有(注3)	当社オリジナルQUOカード3,000円相当

(注1)「200株以上を継続して6か月以上保有」とは、各基準日(3月31日および9月30日)現在の株主名簿に200株以上の保有記録が同一株主番号で2回以上連続している場合をいいます。

(注2)「400株以上を継続して6か月以上保有」とは、各基準日(3月31日および9月30日)現在の株主名簿に400株以上の保有記録が同一株主番号で2回以上連続している場合をいいます。

(注3)「1,000株以上を継続して6か月以上保有」とは、各基準日(3月31日および9月30日)現在の株主名簿に1,000株以上の保有記録が同一株主番号で2回以上連続している場合をいいます。

カレンダー(毎年3月31日基準日)

保有株式数	優待品の内容
200株以上(希望される方)	当社オリジナルカレンダー



2026年版オリジナルカレンダー(表紙)

参考資料

共同印刷グループ製品のご紹介

生活・産業資材セグメント取扱製品

■パッケージ(紙器・軟包装)



■チューブ(ラミネートチューブ・ブローチューブ)・ブローボトル



情報セキュリティセグメント取扱製品

■各種ICカード



Suicaは東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
PASMOは株式会社パスモの登録商標です。
TOICAは東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
nimocaは西日本鉄道株式会社の登録商標です。

■各種データプリント、証券類



情報コミュニケーションセグメント取扱製品

■ 出版商業印刷物



当資料は、投資家の皆さまに共同印刷株式会社への理解を深めていただくことを目的として、
経営や財務に関する情報を提供するものです。

以下の点をご了解の上、ご覧ください。

- ・業績予想などは、作成時点において当社が予測する範囲内で作成したものです。
- ・記載の業績予想などとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでいることをご承知ください。
- ・投資に関する決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。
- ・掲載内容については細心の注意を払っておりますが、不可抗力によって情報に誤りを生ずる可能性もありますので、ご注意下さい。

【お問い合わせ先】

共同印刷株式会社 広報・IR部

E-mail: 7914_ir@kyodoprinting.co.jp

Webサイト: <https://www.kyodoprinting.co.jp/>